

こころのSOSと社会の応答

～みんなで考える子ども・若者のいのち～

虐待・うつ・自殺・・・「わたしたちは見過ごしていないか？」
地域と社会で支えるために、いま私たちにできることをともに考えます

参加費
無料
定員100名

日時 2026年1月25日（日） 13:30～15:30

会 場 神戸大学楠キャンパス Medical C3 commons ホールA
神戸市中央区楠町7丁目5-2 神戸大学医学部附属病院 正面玄関横

対象者 どなたでも参加可
こころの不調やひきこもりなどに悩む方々、ご家族、支援されているご専門家

内容

- ①講演 見えにくいところの変化を見るサイエンス
- ②研究者・参加者によるパネルディスカッション

詳細は裏面に掲載

開催主体 【主催】 ムーンショット目標9「子ども・若者の虐待・抑うつ・自殺ゼロ化社会」
 【共催】 神戸大学、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
 【後援】 神戸市教育委員会

プログラム

講演

こころの不調や自殺のサインが見えるとうなるかー最新の研究を交えてお話しします



見えにくい「こころ」の弱りに寄り添う ー ケアによって変わるDNAのメッセージ ー

大塚 郁夫（神戸大学大学院医学研究科精神医学教室 准教授・精神科医）



デジタルの力でかなえる「こころ」のポジティブケア ー デリケートな情報をどのように伝えるか ー

寺田 努（神戸大学大学院工学研究科 電気電子工学専攻 教授）



テクノロジーは「こころ」に寄り添えるか？ ー 若者・こどもの支援と倫理的・社会的課題 ー

標葉 隆馬（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 准教授）

パネルディスカッション

多様な視点から地域の課題とこれからを考えます

誰もが「声」を上げられる地域へ ー 心の不調に気づき、支え合う仕組みを作るには ー



【モデレーター】

菱本 明豊（神戸大学大学院医学研究科精神医学教室 教授）

篠宮 紗和子（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任助教）

お申込み

以下のQRコードまたはURLより
Peatixページにあるフォームより
お申込みください

[https://epismile2050-
publiclecture260125.peatix.com](https://epismile2050-publiclecture260125.peatix.com)



申し込み

2026年1月24日

イベント前日まで
お申込みいただけます

本イベントと関連プロジェクトについて

本イベントは、内閣府および科学技術振興機構（JST）が推進するムーンショット型研究開発事業の一環として実施されている「子ども・若者の虐待・抑うつ・自殺ゼロ化社会」プロジェクトの成果を社会に還元し、市民の皆さまとともに未来の支援のあり方を考える対話の場として開催します。逆境体験などによる自殺・こころの不調にまつわる問題の解決と誰もが安心して過ごせる社会の実現を目指しています。



プロジェクト
の詳細（HP）
はこちらから

